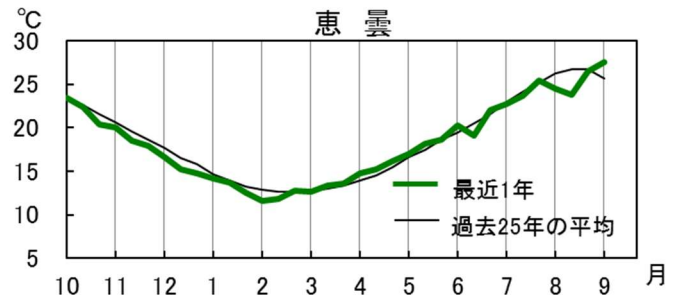
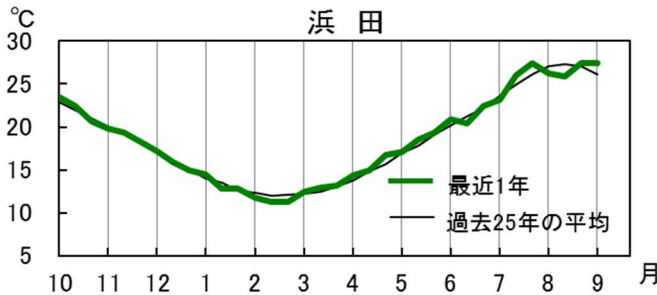




《8～9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	26.6℃	-0.6℃	平年並み
恵曇	25.0℃	-1.6℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、8月上旬は「平年並み」、中旬は「やや低め」、下旬は「平年並み」となり、9月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。恵曇地区では、8月上旬は「やや低め」、中旬は「かなり低め」、下旬は「平年並み」となり、9月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は18.2トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は159トンで平年の1.9倍、マアジは145トンで平年の1.2倍となりました。隠岐地区ではサバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は18.1トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は879トンで平年の1.9倍、ブリは716トンで平年の1.1倍となりました。しかし、例年8月に漁獲の主体となるマアジは284トンで平年の2割以下、昨年、豊漁だったマイワシは57トンで平年の1割以下に留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は58kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は54kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ケンサキイカ、ムシガレイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は10.3トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカムツは平年の2.1倍、ケンサキイカは平年の1.1倍、ムシガレイは平年の5割の水揚げでした。その他、キダイは平年の1.5倍、マダイは平年の2.9倍だった一方、アナゴ・ハモ類は平年の7割、ソウハチは平年の1割の水揚げに留まりました。

【ばいかご漁業】

石見地区のばいかご漁業における総漁獲量は15トンで平年の9割に留まったものの、1統1航海当たりの漁獲量は843kgで平年を1割上回っていました。また、主漁獲物であるエッチェウバイの総漁獲量は13.5トンで平年並み、1統1航海当たりの漁獲量は748kgで平年を1割上回りました。銘柄別では平年に比較して「特大」の割合が7割程度に低下していました。

【しいら漬け漁業】

石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は948kgと平年の5割程度に留まりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、シイラは21トンで平年の4割程度、ヒラマサは888kgで平年の9割程度の漁獲量となりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではヒラマサ、ブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は15.3トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヒラマサは平年の4.0倍の漁獲量でした。石見地区ではマアジ、サバ類、サワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は29.4トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジは平年の4.8倍の漁獲量でした。隠岐地区ではヒラマサ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.2トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヒラマサは平年の1.9倍の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は57kgで平年並みでした。石見地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は57kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は32kgで平年並みでした。

【平成 30 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	345トン	91%	145%	18.2トン	86%	166%	◎
	隠岐	サバ類、ブリ	2,231トン	71%	53%	18.1トン	69%	57%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	8.3トン	55%	22%	58kg	51%	28%	▲
	西郷	ケンサキイカ	9.9トン	58%	106%	54kg	70%	110%	○
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ケンサキイカ、ムシガレイ	165トン	93%	91%	10.3トン	87%	100%	○
ばいかご	石見	エッチュウバイ	15トン	95%	93%	843kg	92%	114%	○
しいら漬け	石見	シイラ	24トン	50%	42%	948kg	48%	51%	▲
定置網 (大型)	出雲	ヒラマサ、ブリ	200トン	108%	101%	15.3トン	108%	107%	○
	石見	マアジ、サバ類、サワラ類	118トン	328%	235%	29.4トン	328%	235%	◎
	隠岐	ヒラマサ、マアジ、サバ類	31トン	170%	98%	10.2トン	170%	98%	○
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	47トン	76%	79%	57kg	89%	105%	○
	石見	ケンサキイカ	46トン	98%	110%	57kg	99%	116%	◎
	隠岐	ケンサキイカ	16トン	78%	76%	32kg	89%	105%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。